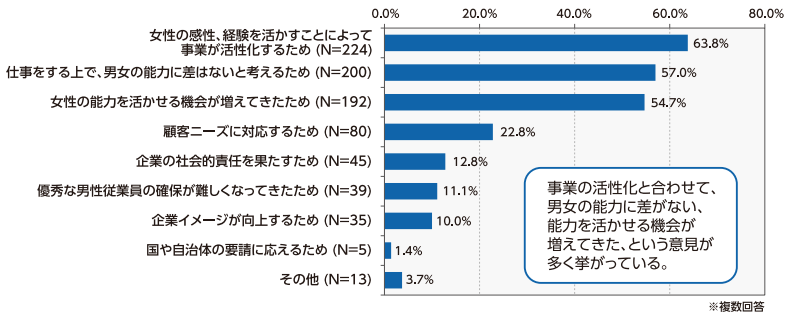


岡山市女性が輝くまちづくり調査の結果について

○企業アンケート

岡山市内の各企業における女性の雇用に関する意識を把握し、岡山市の女性が輝くまちづくり関連施策の基礎資料とするために、岡山市内に事務所を有する社員10人以上の企業1,265社を対象に「女性の雇用についての意識」などを調査いたしました。(回答:556社、44.0%)

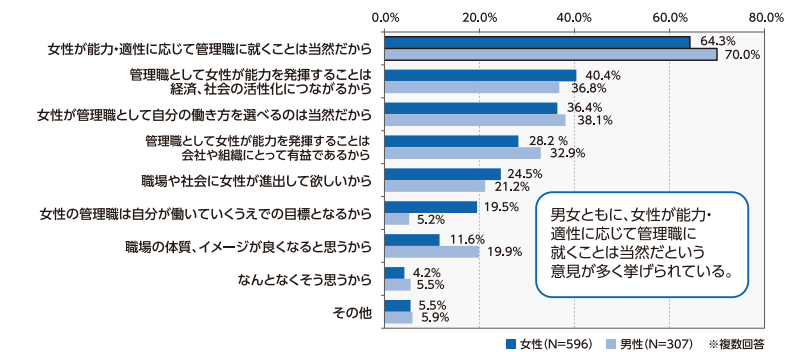
女性の雇用を重視している理由



○市民アンケート

企業・組織で働くことに関する市民の意識を把握し、岡山市の女性が輝くまちづくり関連施策の基礎資料とするために、20歳代から50歳代までの男女3,000人を対象に「女性の雇用環境」などを調査いたしました。(回答:1,006人、33.5%)

男女別 女性管理職の増加を良いことだと思う理由



※その他アンケートからは就労についての不安などの結果も読みとることができます。詳細については、岡山市女性が輝くまちづくり推進課のホームページをご覧ください。

<http://www.city.okayama.jp/shimin/danjo/index.html>

2015.3
DUO
vol.40

男女共同参画社会の
実現をめざす情報誌
DUO デュオ 第40号 発行/岡山市市民局女性が輝くまちづくり推進課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号 ☎086(803) 1115
e-mail: danjo@city.okayama.jp http://www.city.okayama.jp/shimin/danjo/

岡山市 男女共同参画情報誌

DUO

-デュオ-
2015

Vol.
40

♪「デュオ」は英語で二重唱(奏)の意味です。



40号記念 特別レポート

男女共同参画って何のため? 誰のため?

岡山大学大学院教授 中谷文美さん p2~3

インタビュー

今 輝いている人 p4~5

事業者表彰 p5

さんかくウィーク p6

さんかく岡山(岡山市北区表町)のご案内 p7

相談支援センターのご案内 p7

岡山市女性が輝くまちづくり調査から p8

企画・編集

市民公募の編集委員

岡山市市民局女性が輝くまちづくり推進課

岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」



男女共同参画って何のため？ 誰のため？

言葉は知っているけれど、よくわからないと感じている人が多いのではないのでしょうか。
私たちの生活の中にある身近なテーマ「男女共同参画」について、この機会に考えてみませんか？



中谷 文美

岡山大学大学院
社会文化科学研究科教授

専門は文化人類学、ジェンダー論。岡山市男女共同参画専門委員会 副委員長。
主な著書・論文に「女の仕事」のエスノグラフィ―バリ島の布・儀礼・ジェンダー」(世界思想社、2003年)「ジェンダーで学ぶ文化人類学」(共編著、世界思想社、2005年)、「ジェンダー人類学を読む」(共編著、世界思想社、2007年)などがある。

「男女共同参画」って何？

男女共同参画社会とは、平たくいえば、女性も男性も、社会のさまざまな領域で広く活躍できるような社会のことです。

男女共同参画社会への歩みは日本だけではなく、世界各国が取り組んできた課題です。1975年にメキシコシティで開かれた第1回世界女性会議以降、国連加盟国は、それぞれに女性の地位向上や法制度における男女平等を実現するための国内法の整備を行ってきました。日本も政府主導の取り組みを続け、平成11年(1999年)に「男女共同参画社会基本法」が施行されました。政府、地方公共団体、そして国民一人ひとりが男女共同参画社会の実現をめざして、それぞれの責任を果たしていくことになったのです。

日本は男女平等になっている？

「男女共同参画」を英語で表す場合、正式に使われているのはgender equality、つまり「男女平等」という言葉です。皆さんは、今の日本で男女平等はどの程度達成されていると思いますか？

5年ごとに岡山市が実施している「男女共同参画に関する市民意識・実態調査」の結果を見ると、学校教育の現場で男女平等が進んでいると考えている人は、回答者の半数を超えています。しかし、「家庭」「地域社会」「職場」などで「女性の地位が平等になっている」と感じている人は2割〜3割にすぎず、また「男性のほうが優遇されている」と答えた人は男性よりも女性に多いという結果が出ています。

そのような実感のレベルだけでなく、さまざまな指標を使って男女間の格差の程度を測定してみると、日本はほかの多くの国々に比べて、男女平等が進んでいるとはいえません。たとえば、経済活動、教育水準、健康や政治への参加という4つの分野を総合して毎年国別ランキングを出している世界経済フォーラムによれば、日本は142か国中、104位となっています(2014年)。

宗教上の理由などで行動が極端に制限されたり、生まれ

てくる子どもが女の子であることがわかると中絶してしまったり、といった社会に比べれば、現代の日本女性は十分に自由を謳歌しているように見えるかもしれません。しかし、職場では男女の賃金格差は依然として大きく、リーダーシップを発揮する地位に就いている女性の割合も非常に少ないのが現状です。

男女共同参画はなぜ必要？

では、男女平等が達成されず、男女共同参画が進んでいない社会は、具体的にどのような点が問題なのでしょう。

まず、女性だから、男性だからという理由で、自分の希望する職業に就くことをあきらめてしまったり、性別を根拠とした差別的取り扱いを受けたりするような状況では、憲法に保障されている基本的な人権が守られているとはいえません。さらに、さまざまな適性や志望を持つ個人がそれぞれの能力を十分に発揮できない社会は、活力を生み出すことができません。

最近是一般企業に限らずどんな組織でも、「ダイバーシティ(多様性)」の確保が重要視されるようになっていますが、それはさまざまな経験や価値観を持つ人々が組織の意思決定の場面にも参加することによって、新しい発想を持ち込んだり、柔軟な考え方が可能になったりするためです。

だから？しかし？

性別を根拠とする差別や制約から自由になるとは、どういうことでしょうか。

たとえば「男性は女性よりも背が高い」といっても、それは男性全体の平均身長と女性全体の平均身長を比べた時の話です。一人ひとりの個人に目を向けて見ると、男性より背が高い女性もいれば、低い女性もいることは当然でしょう。にもかかわらず、私たちは人間を「男性」「女性」という二つの集団に分け、「男性は〇〇、女性は〇〇」という言い方で、それぞれの役割やふるまいを決めてしまいがちです。

また、結婚・出産を機に退職する女性の比率が高い日本では、

「子どもを妊娠し、出産するのは女である、だから女が育児をするのは当然だ」(A)という考え方が今も根強いかもしれません。しかし、「子どもを妊娠し、出産するのは女である、だから男が育児をするのは当然だ」(B)という考え方や、「子どもを妊娠し、出産するのは女である、しかし男女が協力して育児をするべきだ」(C)という発想も成り立つのではないのでしょうか。実は(B)の考え方が主流の社会も実際に存在します。そこでは産後期に入った子どもの世話を父親が一手に引き受けることになっています。そして(A)から(C)へと発想を転換した国もたくさんあります。その中のひとつ、オランダの事例を最後に紹介しましょう。

オランダに見る「相互乗り入れ」

オランダでは、1960年代半ば頃まで夫婦の間の分業が徹底しており、女性は結婚と同時に家庭に入り、専業主婦として家事・育児に専念することが当然とされていました。しかし今では、働く女性の比率が先進諸国でもっとも多くなっています。実はオランダの女性たちの中には、パートタイムで働きながら仕事と家事・育児を両立させている人が多いのですが、そのパートタイム労働は日本のような非正規雇用ではありません。時間数がより少ないだけで、フルタイムと同等の社会保障や有給休暇の権利を与えられています。

かつては家のことに一切手を出さなかったといわれるオ

ランダ人男性たちも、今では育児時間の取得や柔軟な勤務時間配置を利用して、週末以外に週1日、家で子どもの世話をする日を設けるなど、積極的に家庭責任を担っています。統計的に見ると、家事や育児の分担が完全に男女半々になっているわけではありませんが、かつて男性だけが稼ぎ手だった社会で女性も労働市場に進出し、女性だけが責任を負っていた家庭内で男性も家事や育児を引き受けるようになったことで、男女別に分けられていた領域への「相互乗り入れ」が実現したわけです。

この事例からわかることは、多様な働き方の実現が、男女共同参画につながる道筋の一つだということです。仕事一辺倒の生活を送る男性の働き方が「標準」となっている組織に、同じペースで働けない女性がいるとすれば、その女性は二流の労働力とみなされてしまいます。しかし男女を問わず、誰もが仕事と仕事以外の領域での活動を大事にすることが当然と考えられる社会であれば、「女だから職場の戦力にならない」、「男なのに子どもの病気を理由に休むのはおかしい」といった発想はなくなるでしょう。

職場で女性が活躍できるような社会とは、家庭や地域で男性が活躍する社会でもあります。つまり男女共同参画とは、男性たちにとっても、多様な生き方が可能になるような社会の実現をめざしているのです。

男女共同参画社会基本法とは

平成11年(1999年)に施行された「男女共同参画社会基本法」は、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」(第2条)の実現をめざすための法律です。

岡山市が「さんかく条例(岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例)」を定め、5年ごとに基本計画(現在は平成28年度まで「第3次さんかくプラン」を実施中)を立てているのも、この基本法に沿った取り組みです。

参考文献

加藤秀一他「図解雑学ジェンダー」ナツメ社、2005年

中谷文美「オランダ流ワーク・ライフ・バランス―人生のラッシュアワーを生き抜く人々の技法」世界思想社、2015年



なかひら えみ
中平 江美 さん

株式会社エコピット
フロントチーフ
平成19年入社。5年間の実務
経験を積み、念願の2級整備士
の資格を取得。昨年からフロン
ト業務を担当。

とくらいでしょうか。それでも、好きな仕事でやりがいがあったので、つなぎを着られることが嬉しかったです。工場で働く中で「女性でもしっかり仕事ができるんだな」と、整備の腕でお客様がついてくれて名前を覚えてもらえる嬉しそうですし、お店の雰囲気や対応で「またこの店にきたい」と思ってもらいたくて頑張っています。

■今、フロントチーフとして

7年目でフロントに変わり、今は指がきれいになったことが少し寂しい気もしています。

私が常に心がけていることは、接客の基本である明るい笑顔と挨拶。そして、会社の基本理念でもある「お客様を幸せにする」をモットーに、お客様をよく見て気配りをする事です。私の対応ひとつでお客様を失うこともありますので、毎日気が抜けません。

整備の経験があるからこそフロント業務に生かせることもあり、フロントでしかわからないこともあって、今も1日1日が勉強です。まだまだ細かい気遣いができなくて叱られる時もありますが、私自身の成長のためと受け止めています。

■後輩へ 自分がやりたいと思ったことは是非やってみるべき

自動車整備は女性でもやる気さえあればできる仕事です。これからの整備工場は、整備だけではなく接客力が大切だと思うから、なおさら女性が活躍すればもっとよくなるのではないのでしょうか。「やる気」と「いい会社にしたい」という気持ちがあれば、男性も女性も関係なく、やりがいのある仕事をさせてもらえると思います。

好きなことが見つけれず、なんとなく就いてなんとなく働く…というのは一番辛いと思います。いろいろ遊んでみて、頭を柔らかくしていろんなことを学ぶ中で、自分の好きなことを見つけられるのがいいと思います。



職場でも、性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく、一人ひとりの個性と能力を生かし合えたらいいですね。今、それぞれの分野で活躍されているお二人をご紹介します。

■好きなことから頑張れる

学生の頃から車に興味があり、最初は中古車販売の会社に就職したのですが、整備が面白そうだから資格を取って頑張ってみたくて、19歳の時に転職しました。やはり資格は大きいです。お客様に安心してもらえて、自分の自信にもなる。私には絶対に必要な5年間でした。

職場の人達がよく面倒をみてくれたので孤立することもなく、女性ゆえの苦労というものを感じたことはありません。強いていえば、夏は工場内が40℃を超えるため、汗でお化粧が落ちてしまうこと、爪が油で真っ黒に汚れるこ

インタビュー

今 輝いている人



むらかみ まさひろ
村上 正博 さん

岡山市立市民病院看護部
手術室看護師長
平成8年より岡山市立市民病
院勤務。看護部手術室や病棟
勤務を経て、現在、看護部手
術室所属。
※岡山市立市民病院看護師数
354人のうち男性は19人

りましたので、その都度、男性看護師についての説明をさせていただきました。また、知人にもどのような仕事なのかよく聞かれました。

■看護師という仕事について

男性であれ、女性であれ、患者さんを見る力がないといけません。患者さんの話をしっかり聞き、その人にあった看護を展開しないとけないと思います。

患者さんが元気になって「ありがとう」と言われ退院される時は何事にも代えがたい喜びです。

看護師の世界は、広く、オールマイティーに患者さんを見ていくという看護も必要ですし、特定の看護分野において深く掘り下げていき、専門的に患者さんをケアしていくことも必要です。看護師が自らプランを考え、それが、患者さんのためになる、やりがいのある仕事です。

■これから看護師を目指す方へ

看護師という仕事は、当然、厳しい面もありますが、患者さんの役に立つやりがいのある仕事です。

看護師が足りていない印象もあります。これからの高

齢化社会に向け、それを助ける人材は非常に求められています。今は男性看護師に対する認知度も高くなっているの、男性も働きやすい職場になっていると思います。私は、小柄ですが、周りの支えもあり、仕事を続けてこられました。みんなも志を持てば、十分やっていけるのでチャレンジしてほしいです。私も患者さんの役に立つ看護師さんが育つように手助けができればと思っています。

■男女共同参画社会について

この職場で看護師として働くことで、女性看護師が仕事や家庭の両方で頑張っていることにいつも感心しています。男性も女性もお互いに同じ目標に向かってフォローしていき、何事においても必要だと思っています。



■看護師になったきっかけ

学生の頃から奉仕活動をするなど人と接することが好きだったこともあり、知り合いの看護師さんに看護の仕事がすすめられ、チャレンジしてみました。

■周囲の反応は

当時は、看護師は女性というイメージが強かったので、男性看護師自身が患者さんにも認知されていませんでした。ナースコールで病室に駆けつけても、看護師とは思わず、「看護師さんをお願いします。」と言われることもあ

岡山市は雇用の分野における男女共同参画の形成の促進を図るために、積極的な取り組みを行っている事業者を表彰しています。

市内に事業所があり、男女共同参画社会の形成に積極的な取り組みを行っている事業者を4月ごろに「市民のひろばおかやま」等で募集します。

平成26年度
受賞事業者のご紹介

株式会社徳山電機製作所



仕事と子育ての両立を推進するため、社員に女性看護師を採用し、産前社員への体調の配慮、出産後社員への復帰を視野に入れたフォローなど、きめ細やかな対応を行っていただけること。また、女性社員の営業職への配置をはじめ、社内環境整備により配電盤製作の現場への女性社員登用をめざすなど、女性社員の職域拡大を積極的に進められたことが高く評価されました。

株式会社ビタポール



社員全員が、子供のいる女性であることを強みと認識し、社員一人ひとりの自主的な企画力・調整力・問題解決力を大切に、社員自らが目標設定を行うことで女性社員の能力発揮を促進されておられること。また、女性のもつ力を発揮するために、仕事の共有や休暇をとりやすい雰囲気づくりなど、子育てをしながら働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでおられることが高く評価されました。

男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰



岡山市男女共同参画推進週間 6月21日～6月27日

さんかくウィーク2014

あなたとわたし みんな主役の さんかく社会

プレウィーク
6月14日～
6月20日
フォローウィーク
6月28日～
7月4日

最優秀イラスト

テーマに沿って描かれた
山縣かなさんの作品です。

岡山市男女共同参画推進週間(さんかくウィーク)は、男女共同参画社会の実現に向け、市民のみなさんに男女共同参画社会への理解を深めていただくためのさまざまな取組を行います。今回も、6月21日から27日のさんかくウィークと、その前後一週間(プレウィーク・フォローウィーク)に、さまざまなイベントを行いました。

6/22
(日)

記念イベント／市民文化ホール

講演：ハッピーキャリアの法則

～女性が自分らしく働く、生きるために～
ふもとさちこ

講師：麓 幸子さん

(日経 BP ヒット総合研究所長・
執行役員・日経ウーマン前編集長)



「キャリア」というのは、職業人のことだけを指すのではなく、学生、市民、配偶者、家庭人…人はいろいろな役割をもっています。「ハッピーキャリア」にするためのとっておきの秘訣を取材から得た内容やご自身の体験を含めながらご講演いただきました。

さんかくウィーク2014 ポスターイラスト最優秀賞表彰



さんかく岡山登録団体や、さんかくウィーク2014実行委員会が企画して
オープニングセレモニー・パレード&イベントなど数々のイベントを開催しました。

6/8
(日)



オープニングコンサート

6/8
(日)



パパが育休をとるとのこと
～いろいろきいてはなそうよ～

6/28
(土)



老い支度なせ必要
～老後問題とジェンダー～

公民館での行事

期間中、市内のすべての公民館で男女共同参画に
まつわる講座を開催しました。



興除公民館

さんかく標語展
～あなたとわたし
みんな主役の さんかく社会～



南公民館

性別ってそんなに大切?
～ガサツな娘・オトメンな息子～

告知

さんかくウィーク2015

ひとが輝く まちが輝く さんかく社会

プレウィーク

6月14日～6月20日

岡山市男女共同参画推進週間

6月21日～6月27日

フォローウィーク

6月28日～7月4日

※詳しくは、平成27年5月に、女性が輝くまちづくり推進課ホームページやさんかく岡山公民館などにチラシを配布してお知らせします。

岡山市男女共同参画社会推進センター

さんかく岡山

自分づくりは
表町から始まる☆

さんかく岡山ってどんなところ?

性別にかかわらず、市民の皆さん一人ひとりの個性を輝かせることができるよう、さまざまな講座やイベントの実施のほか、図書館の貸し出し、団体グループへの部屋の貸し出し等を行っています。



▲1階エレベーター入口
(2階に上がってください)



学生・保護者の方へ

自主学習ができます!!

静かな空間で、勉強や読書をしませんか?

3人以上のグループであれば、無料で個室の利用もできますので、スタッフにお尋ねください。

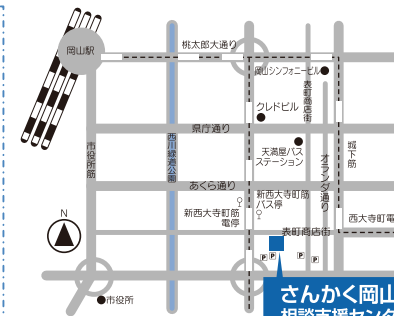


子育て中のママ&パパへ

さんかく岡山は、子育て中の方を対象とした講座やマザーズハローワークの女性向け就業相談を開催しています。託児室(有料・3時間まで)やキッズコーナーもあります。表町付近での買い物帰り等、休憩やトイレ利用だけでも、お気軽にお立ち寄りください!



【住所】〒700-0822
岡山市北区表町三丁目14-1-201号
(アークスクエア表町2階)
【電話】086-803-3355 【FAX】086-803-3344
【E-mail】sankaku@city.okayama.jp
【ホームページ】http://www.city.okayama.jp/shimin/danjo/danjo_00050.html
【開館時間】月・水～土 9:30～20:00 日・祝 9:30～17:00
【休館日】火曜日、年末年始
(火曜日が祝日の場合開館し、翌平日が休館となります)
※専用駐車場がないため、車でお越しの方は近隣の民間駐車場(有料)をご利用ください。



さんかく岡山
相談支援センター

岡山市男女共同参画相談支援センター

(配偶者暴力相談支援センター)

相談ほっとライン ☎ 086-803-3366

相談受付時間
月・水～土 10:00～19:30
日・祝 10:00～16:30
休館日:さんかく岡山と同じ

「こんなことで相談していいの?」
というときにも、電話してみてください。
専門の女性の相談員が
丁寧にお話を聞きます。

◆ご相談ください◆

- 夫婦や家族関係のことで悩んでいる
- 地域や職場、学校等での人間関係に悩んでいる(セクハラ等)
- 夫(妻)、パートナーから暴力(DV)を受けている
- 心や身体、性について悩んでいる 等々

※緊急一時保護を行っています。

身の危険を感じるような暴力を振るわれたときは、受付時間にかかわらず、相談ほっとラインへお電話ください。